

選挙についてのアンケート ～衆議院解散は納得？政治に求めるものは？～

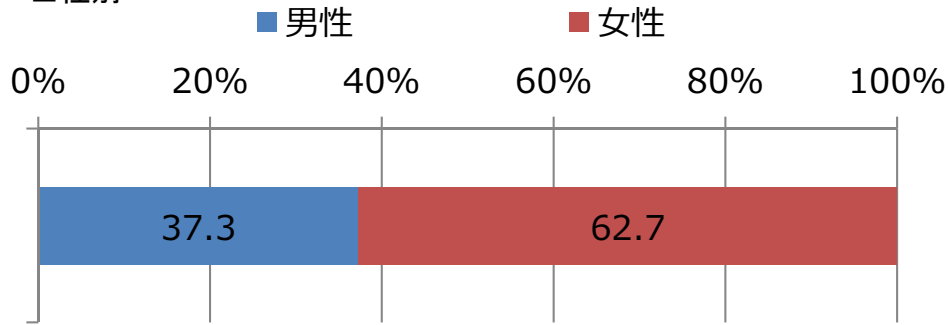
調査方法：インターネットリサーチ
調査対象：20代以上の当社モニター
調査時期：2014年12月2日～2014年12月13日
有効回答数：367名
実施会社：有限会社ラビッツ・ココ

今回の衆議院議員選挙は必要だったのか、国民が政治に求めるものは何なのかを聴いてみました。

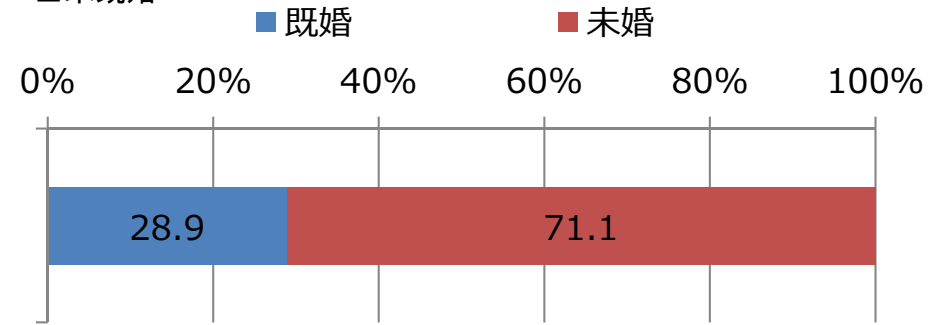
- 今回の衆議院議員選挙を「意味のある選挙」とみている人は2割弱とわずか。
- 7割が「必ず選挙に行く」と回答。50～60代はさらに高く、8割が必ず行くと答えている。
- 投票に行かない理由も聴いてみた。年代が若い人は、「誰にいれていいかわからない」という意見が多かった。有権者に訴える方法などの検討も必要なのではないだろうか。
- 政治に期待することは、「景気回復」を求める声が多かった。老後や子供に対しても安心・安全・安定した生活を国民は望んでいる。「子供世代が日本人に生まれてよかったと実感できる政治をしてほしい」(40代 女性)。

与党・野党の政権争いではなく、国民の声をちゃんと聴いて、国民のために対策を練って解決に向けて団結してほしいと願っている。

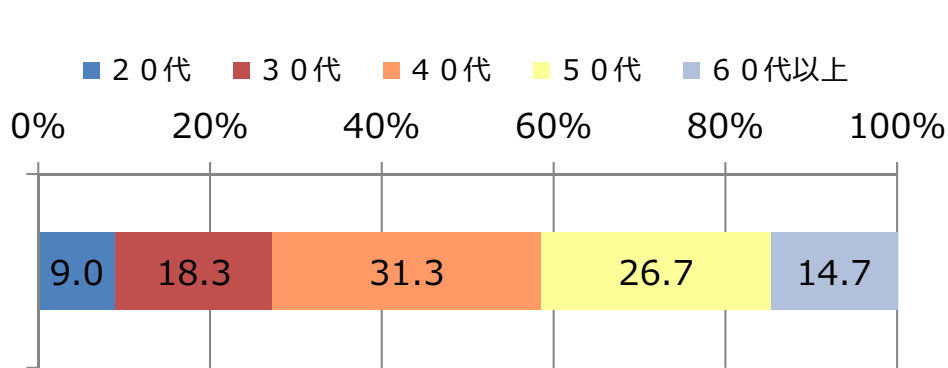
性別



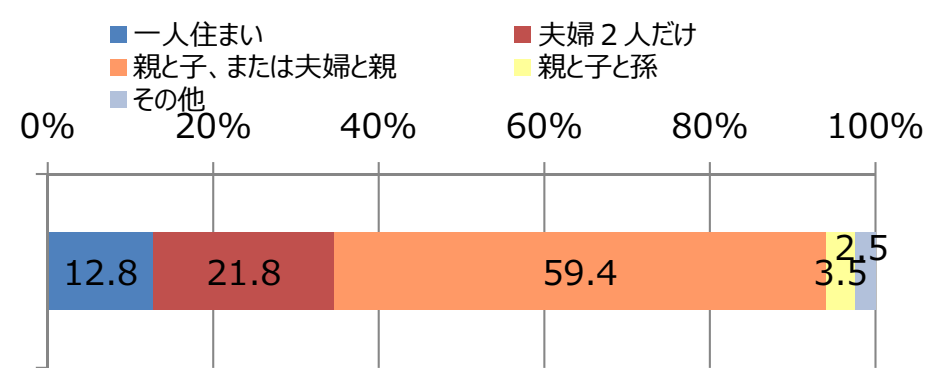
未既婚



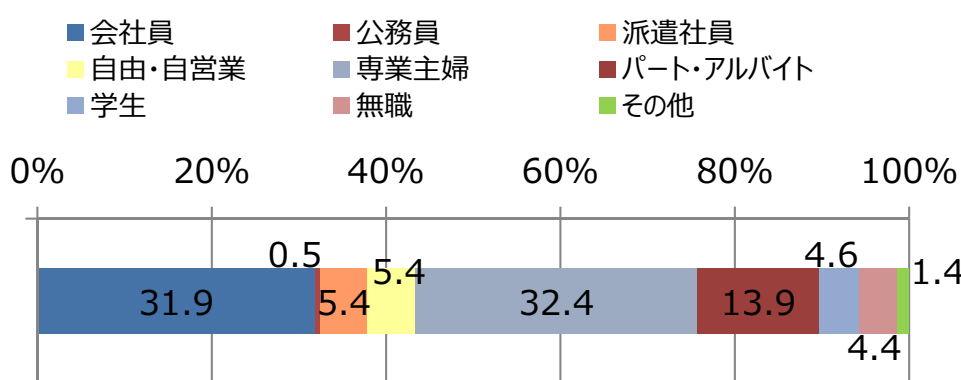
年代



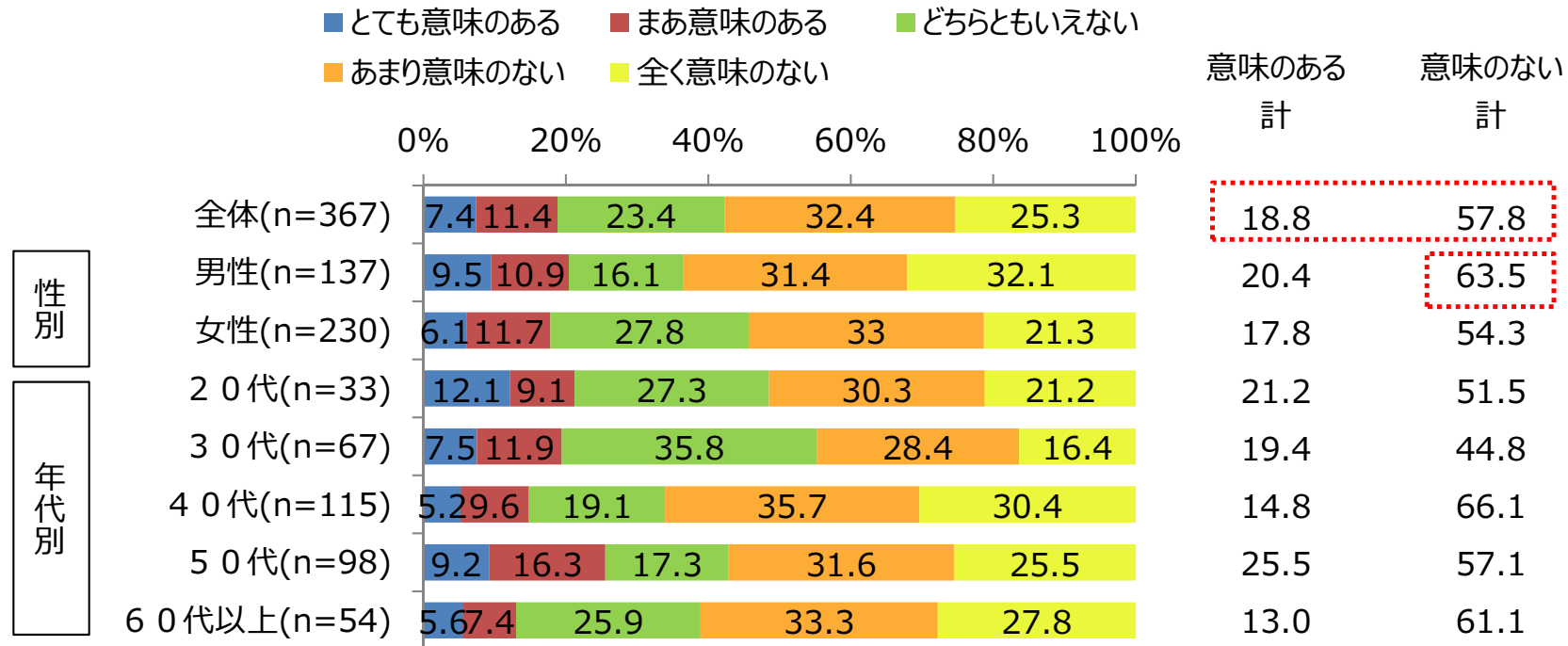
同居家族構成



職業



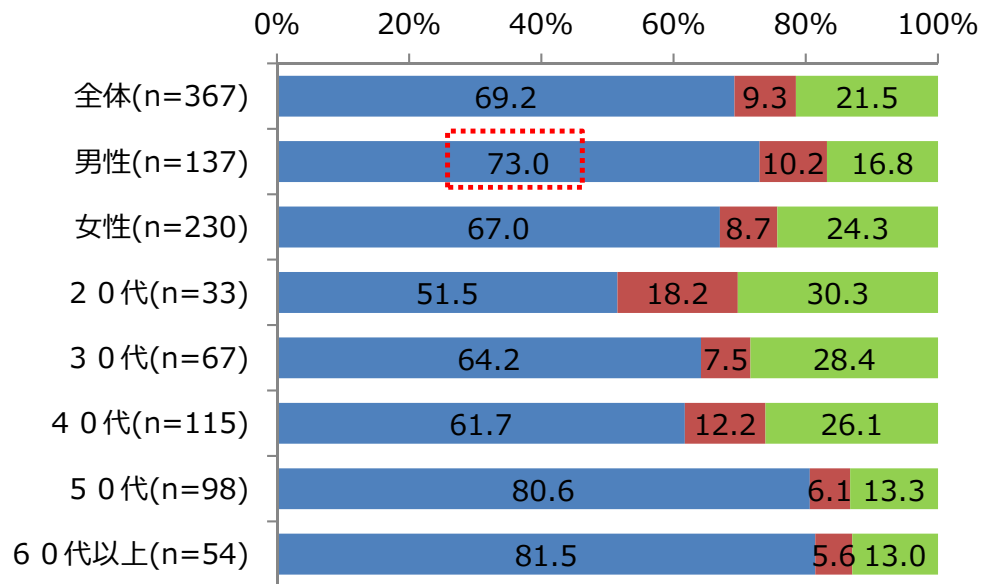
Q. 今回の衆議院解散をどのように思われますか？



- ◆ 「意味のある」という意見は2割弱で、「意味のない」という意見が6割弱を占めた。
- ◆ 「意味のない」という意見は、特に男性に多く見られる。
- ◆ 年代別では「50代」は他の年代層と比べ、1/4が「意味のある」と評価してる。

Q.1 2月14日(日)の選挙は投票に行きますか？

- 必ず投票に行く(不在者・期日前投票含む)
- 投票に行かない、不在者・期日前投票もしない
- 迷っている



Q. (投票に行かないと回答の方)
どのような理由から投票に行かないと決めているのですか？

主な意見

- ・誰に入れていいかわからない
- ・この解散に意味があるかわからない
- ・誰に入れても社会はかわらない

Q.あなたが政治に期待するものは何ですか？

主な意見

- ・景気回復
- ・子育てしやすい社会づくり
- ・税金の無駄遣いをなくしてほしい
- ・老後も安定した生活ができるようにしてほしい
- ・雇用対策
- ・格差社会をなくす
- ・公約を守ってほしい
- ・東日本大震災の支援

- ◆ 「男性」は7割が「必ず行く」と回答。
- ◆ 50～60代は8割が「必ず行く」と回答しており、選挙に対する意識の高さが表れている。
- ◆ 行かない理由について、年代が若い人は、「誰に入れていいかわからない」の意見が多く、年代が高い人ほど、「誰に入れても社会は変わらない」という意見が多かった。
- ◆ 政治に期待することのトップは、「景気回復」「安心・安全な生活」。つづいて「老後の安定した生活」「子育て支援」。一方で「何も期待していない」という意見もあった。